

科目名	IT管理						
科目名(英)							
単位数	7単位	時間数	108時間	担当者	瀬崎 美佐緒		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	<p>ITパスポート試験マネジメント野の知識を習得する。知識習得の目安としては以下を目安とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略マネジメントの基礎用語の名称と概要を理解し、説明できる。 ・マネジメント分野及びストラテジ分野の過去問題(選択問題)に適切な回答を選択できる。 <p>iCDタスクコード EX01.39.4</p>						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○	その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					企業活動に必要な経営管理の手法や、経営戦略用語を理解し、説明できる。	
	○					企業における法務を支える著作権に関する基礎知識と用語、概要を理解し、説明できる。	
	○					システム化計画の手順を学び、ユーザ側の立場からシステム調達を理解、説明できる。	
	○	○				マネジメント分野の用語や計算方法を理解し、解答の算出ができる。	
テキスト・教材 参考図書	FOM よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-3	開発技術 システム開発のプロセス(1)					
	4-6	開発技術 システム開発のプロセス(2)					
	7-10	開発技術 ソフトウェアの見積・ソフトウェア開発プロセス					
	11-13	プロジェクトマネジメント概要					
	14-16	プロジェクトマネジメント知識エリア					
	17-18	サービスマネジメント サービスマネジメントシステム(1)					
	19-20	サービスマネジメント サービスマネジメントシステム(2)					
	21-22	サービスマネジメント ファシリティマネジメント					
	23-25	システム監査 システム監査概要					
	26-27	システム監査 内部統制					
	28-30	マネジメント分野弱点まとめ					
	31-54	過去問題演習 令和4年度までのIP過去問演習				誤りの部分を叶ずノートにまとめて当日または許可をとて翌日までに提出する事。	
評価方法	(1)授業の中で確認テストを10回実程度実施する。(2)単元終了後、成績評価試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。提出物はノート及びプリントで、点数ではなく提出率を鑑みる。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価テスト	◎	◎				55%
	確認テスト	○	○				25%
	授業態度・提出物				◎		20%
履修上の注意	再試験は実施しない。						

科目名	IT総論						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	96時間	担当者	小森 俊昌		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	ITパスポート試験テクノロジー分野の知識を習得する。知識習得の目安としては以下を目安とする。 ・コンピュータシステム、ネットワーク、情報セキュリティに関する基礎知識を学び、名称と概要を説明できる。 ・テクノロジー分野に該当するIT用語を、問題説明から導き出して選択解答することが出来る。 iCDタスクコード EX01.39.1						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ITパスポート試験テクノロジー範囲用語について試験範囲を網羅し、説明できる。	
		○				正規化の実施や、通信料の計算など学んだ知識を使って問題が解ける。	
		○				現代社会の情報リスクについて技術的脅威を学び、脅威の特定が出来る。	
	○	○				セキュリティ用語について試験範囲を網羅し、情報セキュリティポリシーの概念を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	FOM よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-3	技術要素(情報デザイン)					
	4-6	情報メディア					
	7-10	データベース(データベース方式、設計)					
	10-13	データベース(データ操作、トランザクション処理)					
	14-17	ネットワーク(ネットワーク方式、通信プロトコル、ネットワーク応用)					
	18-21	セキュリティ(情報セキュリティ、情報セキュリティ対策他)					
	22-24	表計算ソフト(表計算ソフトの機能)					
	25-28	表計算ソフト(関数の利用等)					
	29-48	テクノロジー分野過去問題演習(~令和4年度)					
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)ITパスポート試験受験以前に、単元終了後、授業内評価試験を実施。 (3)ITパスポート本試験の成績も合格ラインを100%として換算する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価試験	◎	◎				40%
	小テスト	○	○				20%
	出席状況・授業態度				◎		20%
	検定本試験	◎	◎				20%
履修上の注意	再試験は実施しない。						

科目名	商業簿記B						
科目名(英)	Book Keeping						
単位数	4単位	時間数	72時間	担当者	山田奈々瀬		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	小規模株式会社における企業活動や会計実務を踏まえ、経理関連書類の適切な処理を行うスキルを身に付ける。 iCDタスクコード SP02.1.1						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				取引伝票を読み取り仕訳日計表の作成が出来る。	
		○				商品有高帳(移動平均法)の作成が出来る。	
		○				各勘定科目の締め切りが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	日商簿記3級とおるテキスト・トレーニング・電卓						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-3	基本仕訳復習					
	4-6	決算整理事項復習				前回の内容を復習しておくこと	
	7-9	精算表復習				前回の内容を復習しておくこと	
	10-12	財務諸表説明				前回の内容を復習しておくこと	
	13-14	財務諸表作成練習				前回の内容を復習しておくこと	
	15-16	財務諸表確認テスト①/試算表作成説明				前回の内容を復習しておくこと	
	17-18	試算表作成練習/試算表確認テスト②				前回の内容を復習しておくこと	
	19-20	補助簿(売・買掛金元帳/固定資産台帳/商品有高帳 移動平均法)				前回の内容を復習しておくこと	
	21-22	補助簿確認テスト③/伝票復習/仕訳日計表説明				前回の内容を復習しておくこと	
	23-24	仕訳日計表作成・練習				前回の内容を復習しておくこと	
	25-26	仕訳日計表確認テスト④/損益勘定・帳簿の締め切り説明				前回の内容を復習しておくこと	
	27-28	損益勘定・帳簿の締め切り練習/損益勘定確認テスト⑤				前回の内容を復習しておくこと	
	29-30	定期試験対策				前回の内容を復習しておくこと	
31-33	模擬問題演習				前回の内容を復習しておくこと		
34-36	模擬問題演習				前回の内容を復習しておくこと		
評価方法	(1)定期試験を実施する。(2)授業中①回～⑤回の確認テストを実施し、6割以上の仕上がりで20%の評価とする。 (3)授業への取り組みでは、必要教材の忘れ物が6回まで、居眠り・私語注意各6回まで課題提出で、20%の評価とする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎				60%
	確認テスト		○				20%
	忘れ物・課題提出				○		20%
履修上の注意	簿記の仕組みは、知識を積み重ねていく内容となるため、欠席とならないよう自己管理に努めて欲しい。簿記の授業では、電卓が必要不可欠なものとなるため、日ごろから練習を要する。						

科目名	セルフプレゼンテーションB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	山田 智代子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと話す聴くができるようになる。 ・グループワークを通じて、自分の考えを表現し、他者の意見を受け入れる。 ・発表で成果を得る。 						
	iCDタスクコード	CM01.8.5					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○		○	○		いつでも感じの良い挨拶ができる	
	○	○	○	○		グループワークでの積極的な立ち居振る舞いができる	
	○	○	○	○		自分の考えを表現し、他者の考えを受け入れることができる	
	○	○	○	○		目的を意識して行動できる	
	○	○	○	○		全体を考えて、時間管理・行動・成果を上げることができる	
テキスト・教材 参考図書	実践ビジネスマナー/ウィネット						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	おさらい/挨拶・立ち居振る舞い・話す聴く・受付対応			自分の課題を振り返り、表現。		
	2	ディスカッション① 成果を上げるために			チャレンジする。 コミュニケーションを意識して行動。		
	3	電話対応/受ける・取り次ぐ			わかりやすく話す。声の出し方を意識。		
	4	電話対応/受ける・取り次ぐ・用件を聞く			相手に正確に伝わっているか、確認。		
	5	発表/準備①			みんな初めてのこと。チャレンジする気持ちで取り組む。		
	6	発表/準備②			仕事を見つける。 伝えたいことを伝える表現とは。		
	7	発表/準備③			自分が仕事をするだけでなく、他者の様子を見ながら アドバイスや手助けを行う。		
	8	発表/準備④			客観的に見る目を養いと改善点を見つける。		
	9	発表/準備⑤			自分の仕事だけでなく、グループ全体を見て仕事を進める。		
	10	発表/準備⑥			伝えるための手段。 「どう伝えたいか」ではなく、「どう伝わるか」。		
	11	発表/準備⑦			誰かの役に立つ仕事をしているか。		
	12	発表/準備⑧			目的を再認識。大切なことを見失わない。		
	13	発表/本番					
	14	発表/振り返り・レポート作成					
15	まとめ						
評価方法	(1)定期試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎		◎		20%
	発表	◎	◎	○			20%
	意欲・取組み	◎	◎		◎		50%
	出席				◎		10%
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がどうなりたいのか、意識し行動することが大切。 ・欠席=各自回復。 						

科目名	接遇B						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	18時間	担当者	姫嶋 幸子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社で客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	お客さまと接する際の感じの良さを表現し、丁寧な立ち居振る舞いができるようになる サービス接遇検定2級(11月)準1級(実技)の合格を目指し、面接練習につなげる iCDタスクコード SP02.12.5						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				社会人に求められる資質、敬語、社会常識を理解し、過去問題に正解できる	
		○				社会人に求められる対人技能、実務処理を理解し、過去問題に正解できる	
		○	○			社会人に求められる話し方、態度、物腰をロールプレイングで実演できる	
		○	○			面接試験に向けて、決められたルーティンで面接を受けることができる	
テキスト・教材 参考図書	サービス接遇検定2級実問題集 「完全図解ビジネスマナー」						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	サービス接遇全般復習					
	2	敬語・尊敬語と謙譲語の使い分け				指定範囲の確認テストを行うので復習する	
	3	一般知識・社会常識復習				指定範囲の確認テストを行うので復習する	
	4	基本言動全般復習				指定範囲の確認テストを行うので復習する	
	5	掲示文・アナウンス・ビジネス文書				ビジネス文書を仕上げて提出する	
	6	面接試験模擬練習・部屋の出入り					
	7	面接試験模擬練習・入室後の挨拶の仕方					
	8	面接試験模擬練習・歩き方・立ち方					
	9	面接試験模擬練習まとめ					
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)確認テストを適宜実施する (2)模擬面接を実施する。(3)全コマの2/3以上出席していること。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、再試験は行わない。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	◎		○		60%
	模擬面接	○	◎		○		20%
	態度・意欲・出席				◎		20%
履修上の注意	授業で学んだことは、アルバイトなど、日常生活の中で実践すること 各テストで60点以上得点できるよう、必ず授業の復習を行うこと。						

科目名	ITパスポート試験対策						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	32時間	担当者	小森 俊昌		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	ITパスポート試験範囲の情報知識を習得する。知識習得の目安としては以下を目安とする。 ・該当する範囲のシラバスから出題された問題から趣旨を読み取り解答を選択する事ができる。 ・シラバスに該当するIT用語を、理解し、意味を説明する事ができる。 iCDタスクコード SP05.29.3						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				情報技術に関する専門用語を学び、意味を説明することができる。	
		○				計算問題を理解し正しい答えを算出できる。	
	○	○				過去問題・答案練習を解く事で、出題の傾向を学習し、選択問題を解くことが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	FOM よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	導入、弱点分野リクエスト分野収集、授業					
	3	過去問題該当分野テスト(90分間)				CBTトレーニングの場合はPC室へ移動 必ず解答を紙に書き写すこと	
	4	解説解答、弱点まとめ					
	5	過去問題該当分野テスト(90分間)				CBTトレーニングの場合はPC室へ移動 必ず解答を紙に書き写すこと	
	6	解説解答、弱点まとめ					
	7	過去問題該当分野テスト(90分間)				CBTトレーニングの場合はPC室へ移動 必ず解答を紙に書き写すこと	
	8	解説解答、弱点まとめ					
	9	過去問題該当分野テスト(90分間)				CBTトレーニングの場合はPC室へ移動 必ず解答を紙に書き写すこと	
	10	解説解答、弱点まとめ					
	11	過去問題該当分野テスト(90分間)				CBTトレーニングの場合はPC室へ移動 必ず解答を紙に書き写すこと	
	12	解説解答、弱点まとめ					
	13	過去問題該当分野テスト(90分間)				CBTトレーニングの場合はPC室へ移動 必ず解答を紙に書き写すこと	
	14	解説解答、弱点まとめ					
	15	授業内テスト・総復習					
	16	授業内テスト・総復習					
評価方法	(1)授業の中で過去問題のテストを毎回実施する。これを確認テストとして扱う。(2)単元ごとの総まとめテストを授業内評価試験として実施する。(3)弱点をまとめたノート提出を適宜義務付ける。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業内評価試験	◎	◎				50%
	小テスト	○	○				25%
	課題提出				◎		25%
履修上の注意	CBT、紙どちらの答案練習でも必ず復習を行い、不明点を克服するよう努めること。						

科目名	PowerPoint演習						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	24時間	担当者	下仮屋 珠美		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	スライドマスターの編集、アニメーションや画面切り替え効果の適用・編集、スライドショーの設定、配布資料の作成など、さまざまな目的や状況に応じてプレゼンテーションを作成・編集できるスキルを身に付ける						
	iCDタスクコード						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				プレゼンテーションを作成し、スライドに書式設定ができる	
		○				表やグラフ、オブジェクトの挿入ができる	
		○				画面切り替えやアニメーションを設定できる	
テキスト・教材 参考図書	MOS PowerPoint 365&2019 対策テキスト&問題集(FOM出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	スライドの管理					
	2	テキスト、図形、画像の挿入と書式設定					
	3	表、グラフ、SmartArt、3Dモデル、メディアの挿入				スライドの書式設定を理解しておくこと	
	4	画面切り替えやアニメーションの適用				表、グラフの挿入ができるようにしておくこと	
	5	プレゼンテーションの管理				画面切り替え効果が設定できること	
	6	模擬試験実施 第1回から第5回解説					
	7	模擬試験実施 第1回から第5回解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	8	模擬試験実施 第1回から第5回解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	9	模擬試験実施 第1回から第5回解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	10	模擬試験実施 第1回から第5回解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	11	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	12	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
評価方法	(1)授業内評価テスト、確認テストを実施する。(2)課題演習:単元ごとの確認問題を解答し提出する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		授業内評価テスト	◎				60%
		確認テスト	○				20%
		課題演習	○		○		20%
履修上の注意							

科目名	Access演習						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	48時間	担当者	下仮屋 珠美		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	基礎的なデータベース設計の原則を理解し、テーブル、リレーションシップ、クエリ、フォーム、レポートなど、基本的なデータベースオブジェクトを作成・編集・管理できるスキルを身に付ける						
	iCDタスクコード						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				データベースが作成できる	
		○				テーブルが作成及び編集できる	
		○				クエリが作成及び編集できる	
		○				フォームが作成及び編集できる	
		○				レポートが作成及び編集できる	
テキスト・教材 参考図書	MOS Access 365&2019 Expert 対策テキスト&問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1-2	データベース入門					
	3-5	テーブルの作成と変更				データベースを理解しておくこと	
	6-8	クエリの作成と変更				テーブルを理解しておくこと	
	9-11	レイアウトビューを使ったフォームの変更				テーブル、クエリを理解しておくこと	
	12-14	レイアウトビューを使ったレポートの変更				フォームを理解しておくこと	
	15-17	データベースの管理				レポートを理解しておくこと	
	18	模擬試験実施 第1回から第3回解説					
	19	模擬試験実施 第1回から第3回解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	20	模擬試験実施 第1回から第3回解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	21	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	22	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	23	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
	24	模擬試験実施 本番に合わせて時間を計り演習、解説				間違った問題の見直しをしておくこと	
評価方法	(1)授業内評価テスト、確認テストを実施する。(2)課題演習:単元ごとの確認問題を解答し提出する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		授業内評価テスト	◎				60%
		確認テスト	○				20%
		課題演習	○		○		20%
履修上の注意							

科目名	教養 I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	藤井 裕一		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	就職試験に臨むためのSPI(非言語・言語)の内容を学ぶ。論理的思考を養う数学を主教科、読解力を強化する為の国語を副教科とする。						
	iCDタスクコード						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					非言語能力問題(損益・仕事・鶴亀・速度・確率等)ができる	
	○					言語能力問題(二語関係・文法・語句・長文理解)ができる	
テキスト・教材 参考図書	最新最強のSPIクリア問題集(成美堂出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	確率、言語問題					
	2	時事、割引料金と精算、言語問題				授業で解けなかった問題を復習しておくこと	
	3	分割払いと割合、言語問題				授業で解けなかった問題を復習しておくこと	
	4	推論①、言語問題				授業で解けなかった問題を復習しておくこと	
	5	推論②、言語問題				授業で解けなかった問題を復習しておくこと	
	6	推論③、言語問題				授業で解けなかった問題を復習しておくこと	
	7	時事、推論④、言語問題				授業で解けなかった問題を復習しておくこと	
	8	推論⑤、言語問題				授業で解けなかった問題を復習しておくこと	
	9	集合、言語問題				授業で解けなかった問題を復習しておくこと	
	10	時事、グラフの領域、言語問題				授業で解けなかった問題を復習しておくこと	
	11	時事、ブラックボックス、言語問題				授業で解けなかった問題を復習しておくこと	
	12	図表の読み取り、言語問題				授業で解けなかった問題を復習しておくこと	
	13	時事、物の流れと比率、言語問題				授業で解けなかった問題を復習しておくこと	
	14	模擬試験				授業で解けなかった問題を復習しておくこと	
15	総復習				授業で解けなかった問題を復習しておくこと		
評価方法	(1)定期試験を実施する。(2)授業の中で確認テストを実施する。(3)課題はASOドリルレベル2国語数学の実力テストとする。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎					60%
	確認テスト	○					20%
	課題	○			○		20%
履修上の注意							

科目名	キャリアデザイン						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	瀬崎 美佐緒		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ビジネスエキスパート科1年						
授業概要	就職試験の面接に合格する為に模擬面接を行い、質問の趣旨に沿った的確な受け答えができるようになる。 iCDタスクコード						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				志望する業界・職種についての特徴を正しく理解し、志望理由を説明できる。	
	○	○	○			面接の手順を理解し、ロールプレイングにおいて立ち居振る舞いを実行できる。	
	○	○				面接において受けた質問に対して的確に受け答えを行える。	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック(麻生塾)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職環境を知ろう(就職活動の流れとスケジュール、様々な雇用形態と働き方)					
	2	自己分析・他己分析					
	3	仕事研究(会社の基礎知識、業界と職種)					
	4	自己表現①自己PR作成				自己PR等の課題を作成・提出。	
	5	自己表現②志望業種と志望職種				業界研究、職種研究レポートを作成・提出。	
	6	面接試験対策①(求職票受付面接について、面接のマナーと動き)					
	7	面接試験対策②(よくある質問の傾向と対策、ロールプレイング)					
	8	面接試験対策③(ロールプレイング、課題フィードバック)					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)レポート・課題を提出する。(2)受講態度を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はR(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート・課題	○	◎				40%
	面接練習	○	◎	◎	◎		40%
	受講態度				◎		20%
履修上の注意	レポート、課題は全て提出すること。						